

技術士スワンとの連携により、母校で講演！

「技術士を知ろう！ in 室蘭栄高校(栄高塾)」

1. はじめに

当研究委員会では、「技術士を知ろう！」として、様々な大学、高校等で講演を行っています。昨年引き続き、室蘭栄高校にて講演の機会をいただきました。

室蘭栄高校では、毎年、高校1年生向けに「栄高塾」を実施し、実社会で働く方の話を聞き、職業と社会とのつながりの理解を深めるとともに、将来の職業について考え、進路選択の参考にすることを目的としています。

職業の1つとして「技術士」を取り上げていただき、2019～2021年まで、『技術士スワン(室蘭栄高校出身の技術士の集まり)』が講演を行ってきましたが、講演内容をよりよいものにしていくために、2022年から、『技術士スワン』が主催、当研究委員会及び青年技術士交流委員会(青技交)が協力という連携体制で実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2023.10.18(水) 15:20～16:05

講義内容：①学生生活と現在の仕事とのつながり

②人生の選択、技術士としての仕事

③技術士について

対象者：室蘭栄高校1年生 16名

参加幹事：永井(技術士スワン、ミライ研)

小澤、千葉(ミライ研)、正田(青技交)

45分という限られた時間のなか、とても欲張りに、上記の3つの内容について講演しました。

タイムスケジュールを厳密に行い、事前準備も綿密に、今後の進路や仕事、技術士について、より理解が得られるよう、参加メンバー一同、全力を尽くしました！

3. 学生生活と仕事のつながり

まず初めに、比較的年齢の近い正田技術士補から、学生生活と仕事のつながりや、働くということの意味や目的についてお話ししました。

自身の学生生活の中で就職した際に役立ったこと、就職した後の仕事に対する考え方など、学生の立場に寄り添って、よりリアルに、また、ユーモアも交えてわかりやすく説明し、学生たちはとても楽しく、興味深そうに話を聞いていました。



写真-1 リアルとユーモアを交えて伝える正田技術士補

4. 人生の選択、技術士としての仕事

続いて、筆者から、技術士に至るまでの経緯、技術士としてのまちづくりに関わる仕事の内容、働き方についてお話しし、これらをふまえ、高校生の今、できることについてお話ししました。

技術士スワンのメンバーとして、これまで何度も講演を行ってきましたが、後輩たちに伝えたいことがたくさんあり、毎回熱が入ります。

技術士が社会にとって重要な技術者であり、やりがいのある仕事であることをしっかり伝え、そのほか、進路選択について、焦って今決めなければならないということではなく、将来を考えながら道を切り開く力をつけること、『幸せな人生』のための働き方が大切であることなどをお話ししました。

そして、時間の使い方を意識すること、自分なりの勉強方法を身につけることなど、高校生の今、すぐに取り組んでほしいことを伝えました。

たくさんメモを取りながら、真剣に話を聞いていただき、感無量でした！



写真-2 筆者の問い掛けに積極的に応えてくれる後輩達



写真-4 学生からの質問に全身で答える千葉技術士



写真-5 学生代表からお礼の言葉

5. 技術士について

次に、小澤技術士から、「いちごのショートケーキ」を例に、それに関わる多様な技術士の仕事について、とてもわかりやすく説明しました。

「技術士」は、身近なところでたくさん活躍していることが理解できたようで、将来の仕事に様々な可能性を感じてもらえた様子でした。



写真-3 技術士の身近さを伝える小澤代表

6. 質疑応答

最後に、質疑応答を行いました。

理系を目指す学生、建築士を目指す学生、技術士について知りたかった学生など、様々な思いでこの授業を選択してくれた学生たちでしたが、とても真剣に話を聞いていた様子がわかり、質疑応答には1つ1つ真剣に回答しました。最後に、とても丁寧なお礼の言葉をいただきました。

7. 感想、まとめ

この講演では、毎回、後日、学生達が当日とっていたメモや感想が学校から送られてきます。毎年、その内容を見て、本当に感動しています。

「技術士は21部門あって、自分たちが気づいていないだけで、身近にもたくさんの関わりがあるということを知りました。」「これから進学して、社会人になって、仕事をするということはプロになって客にアドバイスをしなければならないということだという話を聞いて、難しいことだが楽しそうだなと思った。」「自分の進路のためにも今はできることをやって、時間の使い方を大切にしたいと思った。」「1つのものをつくるだけでもたくさんの部門の技術士の力があってつくられていることを知れて、自分の将来の夢にかなり近い内容の話を詳しく聞くことができ良かった。」

私たちが伝えたいことが伝わったと感じられ、講演の構成が効果的であることもわかり、講演者一同、とても幸せな気持ちになりました！

「技術士を知ろう！」は、年代にあわせて内容を試行錯誤しながら実施しています。今後も、若い世代に何かを響かせることができる、よりよい講演を実施していきたいと思います。